

社

協

だより



～自分にできる事から、楽しく活動しています！～
越生地域支え合いサービス事業 研修会&交流会



越生地域支え合いサービス事業は、町内で暮らす高齢世帯や子育て世帯の日常生活でのちょっとした困りごとを地域のボランティア会員さんがお手伝いするサービスです。今回、ボランティア活動希望者と既存ボランティア会員合同で研修会&交流会を、12月2日（木）に開催いたしました。2年ぶりの開催となりましたが、11名の皆様のご参加のもと、ボランティアになったきっかけやサービス中でのエピソードなどを話し合いました。「両親の介護を終え今度は地域に貢献できればと思う」、「自分もいつかはお世話になるので今自分の出来る事をしたい」などきっかけは様々ではありますが、皆さんの熱い思いは一緒でした。実際の支援の中でのエピソードでは「高齢者の買い物の付き添いや病院の付き添いは、一人だと不安だけど付き添うことにより利用者さんが安心していている様子を目の当たりにし喜んでもらえるところも元気が出る!」、「毎週1回お掃除に入っていて利用者さんとのお話がとても楽しい」など、ボランティアをしている側も利用者さんから知恵袋や元気をもらっている様子が伺え、ボランティア活動希望者からも「私にも出来る事はある!」との意見をいただき、とても有意義な時間となりました。

この社協だよりは赤い羽根共同募金の助成により発行しています



発行: 社会福祉法人 越生町社会福祉協議会

〒350-0416 越生町大字越生908番地12

TEL 292-2977
FAX 292-5616



この社協だよりは再生紙を使用しています。

令和3年度最後の男子ごはん！参加者募集

「男子ごはん」を2月4日（金）に開催いたします。60歳以上の男性を対象とした料理教室で初心者の方も大歓迎です。今回もお弁当形式でお持ち帰りいただきます。

- ・日 時：令和4年2月4日（金）10時～12時
- ・定 員：若干名
- ・会 場：梅園コミュニティ館（梅園小学校敷地に隣接）
- ・参加費：100円
- ・持ち物：エプロン・三角巾・マスク・室内履き・お米1合
- ・申込み：令和4年1月24日（月）まで
- ・その他：新型コロナウイルス感染拡大状況によっては、延期又は中止になる場合がございます。

地域にはあなたの力が必要です！

生活支援体制整備事業



生活支援体制整備事業って何ですか？

一言で言うと、高齢者を支える地域づくりを行う事業です。

越生町でも高齢社会となり、介護保険制度の見直しなどもあり、福祉サービスだけでは安心して地域生活を行うことが難しくなっています。生活の中の困りごとを、高齢者個人の抱える問題ではなく、ご近所に住む若い人にとっても、将来の自分や家族の課題として捉えた場合には「地域課題」となります。

ご近所の住民や団体・企業など、地域に関わる誰もが協力し合い、地域を支える縁の下の力持ちとして活動することを支援しています。

生活支援コーディネーターってどんな仕事？

越生町役場が開催する「地域ケア会議」や「生活支援体制整備推進協議会」に参加して、上記の「地域課題」を把握し、高齢者に優しい地域づくりや地域の高齢者向けの資源開発を行うための仕事を行っています。また、社協が平成14年から各地域を支援しているサロン活動や各地域の老人クラブ活動などへ足を運んで、PR活動や地域の拠点づくりにおける普及啓発を行う他、地域の方々との見える関係性を築きながら仕事を進めています。



生活支援コーディネーターの中下奈江です。
皆さんの地域にお伺いします！

地域住民などの地域課題の解決策の具体例は？

たとえば・・・

○サロン事業のこと：高齢者が気軽に集える場所であるサロンを全ての地区で開催する。（各地区の集会所や公会堂に限らず、個人宅や商店等も開放していただく等）

○安心生活に関すること：「新聞は取り込んであるか」、「雨戸は開いているか」、「電気が一晩中つけっぱなしになっていないか」、「今日は外にいるところを見かけたか」等、相互見守りのできる地域づくり。

などが挙げられます。

昨今、家族や地域の関係が希薄化していることが社会問題となっておりますが、これからは、人と人がお互いに関わりを持ちながら、困ったときにはお互いに助け合っていくことが望まれます。社協では生活支援コーディネーター業務とともに生活支援体制整備事業を越生町から受託しています。それにより、地域の生活支援体制の整備を目指し支援して参りますのでお気軽にご相談下さい。



赤い羽根共同募金運動のご報告です

10月1日より開始された赤い羽根共同募金運動では、各地区役員様や事業所、学校など、多くの皆様のご協力をいただき、誠にありがとうございました。

12月10日現在の募金額は1,484,843円となりました。

この募金は、埼玉県共同募金会へ送金後、令和4年度の地域福祉事業に幅広く役立てられます。この募金額の約6割が社協を通じて越生町内に還元される仕組みで、町内では、地区サロンなどの高齢者の孤立防止活動や、ボランティア団体の活動費、また住民参加型の福祉活動の広報費に充てられる計画となっております。残りの約4割は、県内の社会福祉施設の補修や備品の購入費、災害時の準備金、ボランティア活動費等となる見込みです。

社協の地域福祉事業費へのご寄付のご報告です

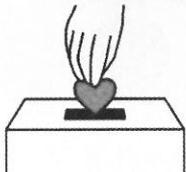


越生町ゴルフ連盟様



去る11月12日に、越生町行政区対抗ゴルフ大会が日本カントリークラブにて開催されました。今回も受付にてチャリティの呼びかけをさせていただき、総額70,916円のご寄付をいただきました。

ご協力をいただきました大会参加者の皆様、越生町ゴルフ連盟の皆様、日本カントリークラブの皆様、誠にありがとうございました。



越生毛呂山仏教会様

11月26日には越生毛呂山仏教会様が来所され、50,000円のご寄付をいただきました。

会合にてこの寄付金を募っていただき、越生町の地域福祉のためにお持ちいただきました。誠にありがとうございました。



飯能地区更生保護女性会様

11月15日、飯能地区更生保護女性会様が来所され、10,000円のご寄付をいただきました。飯能地区更生保護女性会様は毎年、この時季に地域の中での助け合い活動に活用して欲しいとの思いを込めてご寄付をくださいます。毎年ご協力をいただき誠にありがとうございます。

その他、これまでにいただいた個人・団体様からのご寄付の紹介は次号以降、ふれあいの“わ”コーナーにてご紹介させていただきますので、ぜひご覧くださいませようお願いいたします。

“伝えたい” 気持ちが大切！ ～越生中学校手話体験講座開催～

去る12月7日(火)に、越生中学校武道場にて越生町手話サークルの方2名に講師を依頼し、手話体験講座を行いました。まず手話を学ぶ前に、ジェスチャーで言葉表現する挑戦をしました。恥ずかしい気持ちを抱えながらも、一生懸命伝えようと身体を動かし、相手とコミュニケーションをとることで、表現することの大切さを学ぶ機会となりました。また、自己紹介や基本的な挨拶等手話の基礎を学びました。これまであまり触れたことのなかった手話に皆さん興味津々で練習をされていました。



越生町手話サークルって？

手話に興味を持っているメンバーが集まって定期的に手話の学習を行いつつ、小中学校で開催される「手話講座」等で講師を担い、日常生活で触れることの少ない手話の啓発活動のためボランティアを行っています。随時新しいメンバーも募集中ですので、活動内容に興味がある方は、社協までぜひお問合せください。お待ちしております！

活動日時:第2・4火曜日 19時半～21時(都合により変更の場合もあります)

現在活動場所:ゆうがく館 そびらの

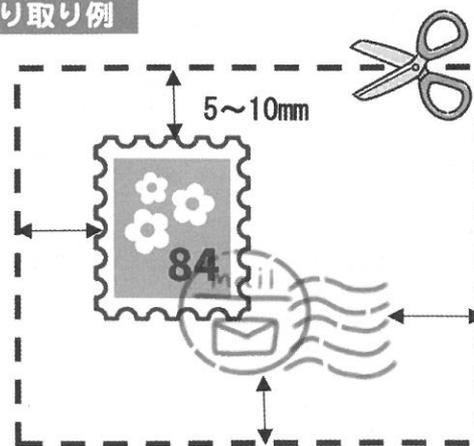


使用済み切手・書き損じはがき お家にありませんか？

新年のご挨拶のため、年賀状をご自宅で作成された方も多いのではないのでしょうか？書き損じてしまった年賀状・はがきや使用済みの切手を処分しようとしていらっしゃる方は、ぜひ社会福祉協議会までお持ちください。お持ちいただいた、切手やはがきはボランティアさんにきれいに整理をしていただいた後に、深谷市にある視覚障がい者の方々のための施設『養護盲老人ホームひとみ園』に送らせていただいております。ひとみ園では、寄付物品を活用して資金を得て、施設の建築・修繕費に充てています。この機会にお家で出来るボランティア活動をはじめませんか？ご協力をお願いいたします。



切り取り例



上記のように消印も残した状態で切り取ってください。もしくは、切り取らない状態で封筒のままお持ちください！